

■コメント

1. ヘルパンギーナ

定点当たり2.29人とやや減少しましたが、多い状態が続いています。引き続き手洗いを励行するなど、感染予防を心がけましょう。

2. 後天性免疫不全症候群

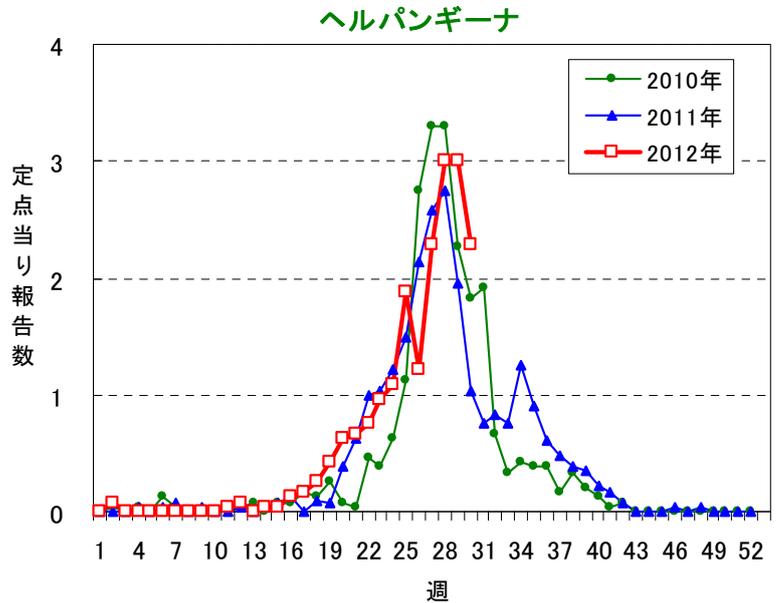
1件の報告があり、今年の累計は12件(エイズ患者5件、HIV感染者7件)となりました。

3. 風しん

1件の報告があり、今年の累計は3件となりました。今年は成人男性を中心に、近畿地方や関東地方で、風しんの報告が増加しており、注意が必要です(次頁参照)。

4. 麻疹

1件の報告があり、今年の累計は2件となりました。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.12		ヘルパンギーナ	55	2.29	2.30	
咽頭結膜熱	9	0.38	0.49	↘	流行性耳下腺炎	9	0.38	0.91	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	0.63	0.61	↘	RSウイルス感染症	4	0.17	0.02	
感染性胃腸炎	71	2.96	3.33	↘	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	12	0.50	0.66	↘	流行性角結膜炎	6	0.75	0.93	
手足口病	4	0.17	2.26		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	-	-	0.35		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.03	
突発性発しん	21	0.88	0.82		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.17	
百日咳	3	0.13	0.09		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	193	男性(80歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	12	男性(50歳代)・エイズ
5	破傷風	1	1	女性(70歳代)
5	風しん	1	3	女性(20歳代)
5	麻疹	1	2	男性(1歳)

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第26週	第27週	第28週	第29週	第30週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
							7	33	120	20	4	4	10	1	29	8	2	1	5	-	1	5	-	-
定点当り	広島市	第26週	-	0.29	1.38	5.00	0.83	0.17	0.17	0.42	0.04	1.21	0.33	0.08	0.13	0.63	-	0.14	0.71	-	-	-	-	-
		第27週	-	0.50	1.08	4.79	0.88	0.13	0.08	0.67	0.13	2.29	0.58	0.04	-	0.13	-	-	0.29	-	-	-	-	-
		第28週	-	0.42	0.96	4.42	0.88	0.08	0.04	0.58	0.13	3.00	0.25	0.08	-	0.25	-	0.43	0.29	-	-	-	-	-
		第29週	-	0.71	1.08	3.67	0.83	0.17	0.08	0.42	0.29	3.00	0.17	0.08	0.13	0.25	-	-	0.29	-	-	-	-	-
		第30週	-	0.38	0.63	2.96	0.50	0.17	-	0.88	0.13	2.29	0.38	0.17	-	0.75	-	0.14	0.29	-	-	-	-	-
	全国	第26週	0.22	0.53	1.70	4.47	1.09	0.93	0.20	0.70	0.04	4.42	0.56	0.13	0.01	0.52	0.01	0.05	0.91	0.04	-	-	-	-
		第27週	0.28	0.43	1.21	3.51	0.77	0.97	0.15	0.62	0.03	4.34	0.52	0.13	0.01	0.56	0.01	0.05	0.84	0.06	-	-	-	-

■ 新たに判明した病原体検出状況

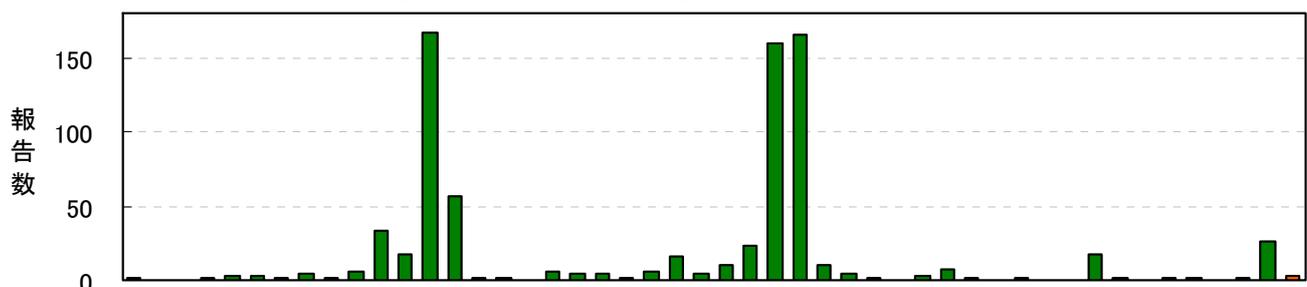
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
細菌性髄膜炎	発熱(40.0)	0	女	2012/06/20	髄液 糞便	エコーウイルス19型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 上気道炎	4	女	2012/06/16	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス
その他の消化器疾患	腹痛	1	男	2012/05/03	糞便	アデノウイルス31型
その他の消化器疾患	嘔吐 腹痛	2	女	2012/06/03	糞便	アデノウイルス31型
その他の消化器疾患	腹痛	2	男	2012/06/19	糞便	アデノウイルス5型
その他の消化器疾患	腹痛	2	男	2012/06/21	糞便	アデノウイルス2型
その他の疾患	発熱(39.0)	0	女	2012/06/20	咽頭拭い液 糞便	エコーウイルス19型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】全国における風しんの流行状況

都道府県別風しん累積報告数 2012年第1週～第29週



北青岩宮秋山福茨栃群埼千東神新富石福山長岐静愛三滋京大兵奈和鳥島岡広山徳香愛高福佐長熊大宮鹿沖広海森手城田形島城木馬玉葉京奈潟山川井梨野阜岡知重賀都阪庫良歌取根山島口島川媛知岡賀崎本分崎児縄島道県県県県県県県県都川県県県県県県県県県県府県県山県県県県県県県県県県県県県県県市

夏休みには、人の移動が増えることにより、感染する機会が多くなり、流行が全国に広がる恐れがあります。風しんにかかったことのない人や予防接種を受けていない人は、ワクチンの接種により、風しんを予防しましょう。

風しんの予防接種等に関する情報は以下のホームページをご覧ください。
 風しんに要注意！ <http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1338441470548/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
 なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。
 URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp